平成26年度当初予算の主な新規・拡充事業

（単位：千円）

	事業費	概　　要
1．産業の振興		
★　（4）花ぷらす館整備事業費	25,000	省エネ型空調への更新、外構整備を行い、環境負荷の低減や更なる来館者の増加を図るものです。
★（14）観光振興費	6,555	三池炭鉱関連施設の世界遺産登録を目指した取り組みを進めるていく中で、観光都市としての認知度の向上を図るため、観光ポスターを新たに作成する等、効果的な観光情報の発信を行うものです。
（15）観光振興支援事業費	(11,655)	多様化する観光ニーズに対応するため、観光協会のホームページのリニューアル等を行い、観光情報提供の拡充を行うものです。
★　　うち観光振興支援事業費補助	6,305	
★（16）動物園整備事業費	74,300	飼育動物の適正な健康管理等を行う動物病院を動物園内に建設するとともに、必要な設備を整備するものです。
★（18）農業用施設整備事業費	106,620	老朽化等により機能が低下した農道、水路、ため池等の農業用施設の改良を行うことにより、農業生産性の向上や地域環境の改善を図るものです。
☆（20）市民農園事業費	4,137	農作業の体験による市民の農業への理解促進や市民と農業者との交流を図るため、市民農園を整備するものです。
2．都市基盤の整備		
☆　（1）地籍調査準備費	780	地籍調査は、土地に関するトラブルの防止、税の適正化などのために、一筆ごとの所有者・地番・地目の調査、境界・面積の測量等を行うもので、この実施に向け、基本計画の作成、関係機関との協議、市民への周知活動等を行うものです。
☆　（2）国土基本図作成費	27,000	国土基本図が、作成後10年以上を経過し、現状と合わないことから、都市計画図等の作成や情報提供に支障をきたしています。そのため、地図を最新の地理情報へ更新し、行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るものです。
3．生活環境の整備		
★　（2）既設改良住宅改善事業費	130,065	昭和49年に建設した鳥塚市住の耐震化、長寿命化、バリアフリー化のため、耐震改修に加え外壁等の改修とエレベーターの設置を行うものです。
☆　（4）木造戸建て住宅耐震改修促進事業費補助	2,000	東日本大震災を契機に、より一層の建築物の耐震化促進を図るため、昭和56年5月31日以前に建築された木造戸建て住宅を対象として耐震改修費用を補助するものです。
★（16）防火水槽建設費	54,000	大規模な地震が発生した場合は、水道管が寸断され消火栓が使用不能になることも予想されます。そのため、住宅密集地区等において、耐震性防火水槽を計画的に整備するものです。

平成26年度当初予算の主な新規・拡充事業

（単位：千円）

	事業費	概　　要
★（17）防災行政無線整備費	10,000	災害対策本部からの避難勧告等の災害情報を直接受信できる戸別受信機を、民生委員・児童委員へ配置し、災害時の情報伝達手段を多様化することで、避難体制の強化を図るものです。
4．健康・福祉の向上		
☆　（1）地域福祉計画策定費	3,459	「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる」まちづくりを基本理念として、支え合い助け合うことができる地域社会づくりを目指す第3次地域福祉計画を策定するものです。
☆　（2）高齢者保健福祉計画策定費	512	高齢者の保健福祉及び介護保険サービスのニーズを的確に把握し、適切なサービス提供を行うために、高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画の策定を行うものです。
（3）成年後見制度利用支援事業費（介護保険会計） ☆　うち成年後見センター運営委託費	(18,910) 14,352	市民の権利擁護の充実を図るため、成年後見制度に関する相談対応や普及啓発とあわせ、市民後見人の養成・登録などを行う成年後見センターを設置します。
☆　（7）天領保育所施設整備費	32,000	就労形態の多様化等に伴う保育需要の増加への対応及び安心・安全な保育環境の確保を図るため、園舎の増築を行うものです。
☆　（8）保育料の減額 （事業費は歳入の減少見込額）	△ 12,139	保育所の保育料金を見直すことにより利用者負担の軽減を行い、子育て支援の充実を図るものです。
★（13）子ども医療費	250,000	平成25年度において従来の乳幼児医療に小学生が入院した場合の医療費の助成を対象に加えましたが、平成26年度からはさらに中学生が入院した場合の医療費についても助成を行うものです。
☆（14）障害者計画策定費	5,000	障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、障害者基本法に基づき、次期大牟田市障害者計画を策定するものです。
☆（18）食育推進計画策定費	1,000	「食を通じた健やか、活き活き、共生のまち おおむた」の実現を図るために、庁内の関係部局や「大牟田市食育推進会議」を中心とした庁外の関係機関、関係団体等との連携のもと、第2次食育推進計画を策定するものです。
☆（21）臨時福祉給付金費	536,015	平成26年4月から消費税が8%へ引上げられることに伴い、所得の低い方々に与える負担の影響に鑑み、臨時的な措置として給付するものです。
☆（22）子育て世帯臨時特例給付金費	131,034	平成26年4月から消費税が8%へ引上げられることに伴い、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な措置として給付するものです。

平成26年度当初予算の主な新規・拡充事業

（単位：千円）

	事業費	概　　要
5. 教育文化の向上		
☆　(2) 青少年健全育成プラン策定費	1,000	青少年を取り巻く家庭・学校・地域の現況を踏まえ、青少年の健全育成を総合的・体系的に推進していくため、次期青少年健全育成プランを策定するものです。
☆　(4) 小学校学力アップ推進事業費	2,000	基礎的な知識及び技能の習得と、応用する力を育成するため、小学校1年生から4年生までの教材集（国語・算数）の作成に取り組みます。
★　(6) 幼稚園就園奨励費補助	184,017	幼児教育の振興を図る観点から、保護者の所得状況に応じた経済的負担の軽減を図るため、保育料等を減免する私立幼稚園の設置者に対し、補助金を交付するものです。低所得世帯と多子世帯の保護者の負担軽減の拡充を図ります。
☆ (11) 学校施設長寿命化改修計画策定費	3,000	経年により、老朽化した学校施設の長寿命化を目的として、学校再編との整合を図りながら、施設等の改修計画を策定するものです。
☆ (13) いじめ・不登校防止子どもプロジェクト推進事業費	1,000	児童会・生徒会によるいじめ・不登校の防止に向けた主体的な活動を推進します。また、代表児童生徒によるリーダーミーティングを開催して、各学校の取り組みの交流を行うとともに、リーフレットやのぼり旗を作成して啓発に努めます。
☆ (17) 近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン推進費	9,037	「近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」に基づき、三川坑跡の保存活用のため、平成25年度策定した基本構想を基に、現存する各施設の具体的な保存整備計画を策定します。
☆ (20) 市民体育館基礎調査費	5,000	老朽化した市民体育館の建替えについて、候補地の選定、施設規模等の調査検討を行います。
○計画の推進		
(2) 地域コミュニティ推進費	(97,778)	市の校区まちづくり協議会への支援として「校区コミュニティセンター」の整備を行うもので、平成26年度は2校区に建設します。
★　うち校区コミュニティセンター建設分	63,000	
☆　(4) 地域おこし協力隊活用事業費	7,600	地域外の人材（都市住民）を本市に受け入れ、地域で生活しながら校区まちづくり協議会での諸活動や、その他の地域おこし活動などに参加し、地域資源や魅力の発見と情報発信などを行います。
☆ (13) マスキーガン友好訪問団派遣事業費	7,000	平成26年度に大牟田市と米国マスキーガン地域は姉妹都市締結20周年を迎え、本市より友好訪問団を派遣することで姉妹都市交流の促進を図るものです。